

110  
EX

D-73-管調資-No.10

昭和46年8月 初版

昭和48年9月 改訂版

# 各国事情のしおり

—— 韓 国 編 ——

1973・9.



海外技術協力事業団

**持出禁止**

国際協力事業団	
受入 月日	'87. 6. 25
登録 No.	08722
	110
	20
	EX

## は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として、同国に設置されている、韓国工業技術訓練センター牧徳一氏からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣、食、住、気候、教育、公共施設、治安等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も随時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任する専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和48年9月

海外技術協力事業団

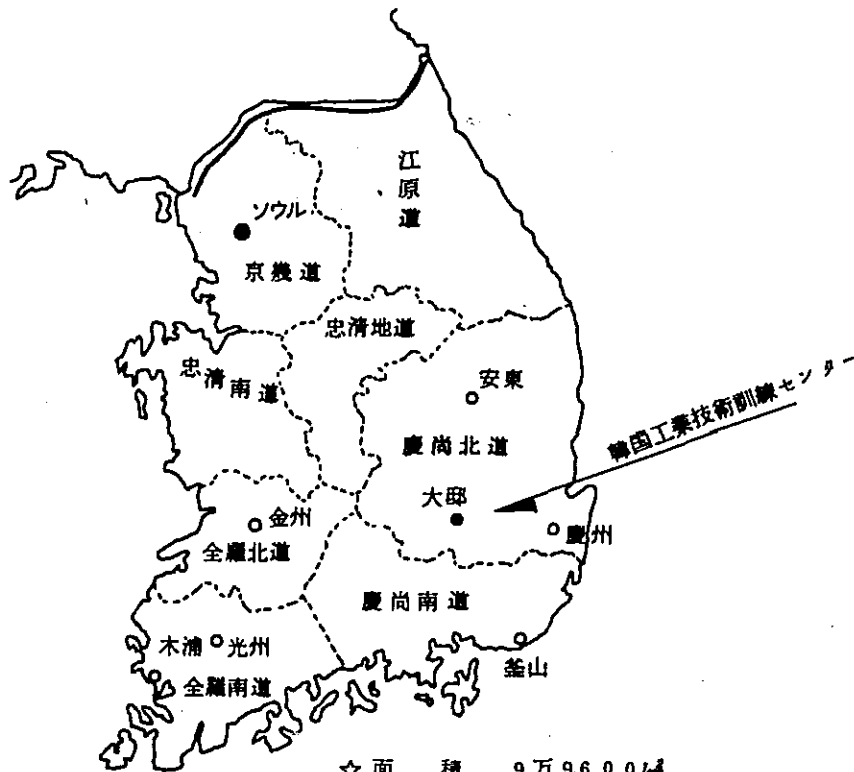
理事長 田 付 景 一

JICA LIBRARY



1048387[3]

# 大韓民国略図



- ☆ 面積 9万9,600km<sup>2</sup>
- ☆ 人口 8,242万9,000人(1972年)
- ☆ 首都 ソウル(京城。人口550万人)
- ☆ 通貨単位 ウオン(Won) = ¥148。
- ☆ 宗教 天道教、仏教、キリスト教、儒教。
- ☆ 教育 6.3.3.4制で義務教育は小学校のみ6年間。
- ☆ 公用語 韓国語。
- ☆ 住民 韓民族。

## 目 次

I 任国事情	
1 住 宅（住宅事情、家賃、ホテル、什器・備品）…	1
2 食 品（食料事情、価格、外食）……………	3
3 衣類、日用品……………	5
4 使用人……………	6
5 医 療（医療事情、医薬品、疾病の種類、健康 管理上の注意）……………	7
6 子弟の教育機関（教育制度、教育機関）……………	8
7 娯楽設備（保養地等、余暇）……………	9
8 電 力……………	9
9 交 通（交通事情、タクシー等、レンタカー、 自動車購入、運転免許、ガソリン代）……………	9
10 為 替（相場、滞在費受取方法）……………	12
11 出入国管理（税関検査、外人登録、ビザ手続）……	13
12 便宜供与（種類、カウンターパート、免税特権）…	13
13 通信、運輸（郵便事情、運送）……………	15
14 言 語（公用語、語学学習）……………	16
15 気 候……………	16
16 治 安（一般情勢、夜間外出、緊急時連絡方法）…	17
17 その他（対日感情、新聞・雑誌等、風俗・習慣 理髪・美容、クリーニング、買物、今後赴任す る専門家に望むこと）……………	17
II 同国に対する我国の技術協力実績……………	23
III 大使館等連絡先……………	28

## I 任国事情

### 1. 住 宅

#### (イ) 住宅事情

##### ① エージェントの有無

市内には「福德房」と称する土地、建物の周施業者が多数ある。

##### ② 入手の難易度

普通住宅の入手は、比較的容易であるが、当国では自家用車の普及が未だ低いため、車庫付住宅となると、若干探すのに困難である。

##### ③ 賃借方法

当国では、一般的習慣として、入居に際し中流家屋で100万～150万ウォンを家主に提供（契約解除の際には全額返金される。日本の敷金にあたるものでこれによる利息が家主の収入となる）して賃貸契約を結ぶ。契約期間は大体長くて1ケ年程度で更新する場合、物価上昇に鑑み更に10万～20万ウォンの増額を支払うケースが多い。

#### (ロ) 家 賃

海外技術訓練センターに勤務する専門家については、センター協定により住宅は韓国政府より無償で提供される。

但し一般専門家については住宅の無償提供はない。提供される家屋は概ね賃借料100万～150万ウォン程度のもので、建坪15～20坪、部屋数4室くらいの中流家屋である。

(ハ) ホテル

① 短期滞在のホテル

料 金 ( 税別 )

シングル 7 ドル

ダブル 11 "

ツイン 12 "

食費は1食2.5～4ドル

② 長期滞在のホテル、マンション

1ヶ月以上滞在する場合は若干割引される。

ソウル以外の地方では、外国人の利用できるマンション、アパートの類は少ない。単身で長期滞在をする場合、食事その他の理由からホテル住いよりは一軒家を借りて、メイドを雇い、炊事、家事雑用、留守番等させる方が便利である。

(ニ) 什器・備品

専門家に無償供与される家屋には、備品として、ベッド、食卓、椅子、応接セット、洋服ダンス、鏡台等が備わっている。

① 携行を必要とする食器類

食器類は現地でも購入可能であるが、使い慣れた日本式のもの(箸、茶碗、急須、湯呑等)を携行すると良い。なおできれば電気釜(1.8ℓ)、冷蔵庫(90ℓ)、扇風機、石油ストーブ、トースター、アイロン等も日本から持参した方が良い。(これらは帰国時に売却できる。現地製も最近出廻っているが価格が高く品質も劣る)

② 入居当初必要とする経費

10万-15万ウオン程度を見込んでおくこと。例えばプロパンガスのボンベ、レンジ、食器・炊事道具一揃、食器戸棚等の日用品の購入が必要となる。

## 2. 食 品

### (1) 食料事情

#### ① 一般的食料事情

さして不自由はないが、バター、チーズ、マヨネーズ、ハム等の乳製品、肉加工品は現地産の物はない。あっても質が悪いので輸入品に頼らねばならない。輸入食料品の購入は外国人専用の商店( Foreigner's Super Market )でドルで自由に購入できる。

#### ② 日本食品の入手状況

日本食品の入手は困難であるが、例えば釜山、大邱地区日本人会では、希望者には一括して購入の便法がある。現地産の味噌、醤油、酢などはあるが品質、味共劣る。

#### ③ 水-水道の設備はあるが、日本のように完備してない。

断水や濁水が良くあり、必ず煮沸して飲用すること。

燃料-プロパンガス、白灯油等自由に購入できる。その他当国では一般に暖房、炊事に煉炭が広く利用されているが、有毒ガスを発生するのでこれを使用する場合特に注意が必要である。煉炭1ヶで1日使用できる(約23ウオン)。

調理器具類-現地製の調理用の燃焼器具は品質も性能も悪い。



調味料—大体入手可能である。

④ 日本食レストランの有無

日本食レストランはソウル、釜山には数多くあるが、一般に甘味が強く、日本人の口には必ずしも合わないもので現地での日本食には余り期待しない方が良い。

(ロ) 価 格

(単位 1ウオン=1.48円)

品 質	数 量	価 額
米	1 斗	2 6 0 0 ウオン
食 パ ン	1 斤	7 0 "
肉 牛	3 7 5 g	4 4 0 "
豚	"	2 8 0 "
焼 鶏	1 羽(大)	8 0 0 "
海 苔	1 0 0 枚	5 0 0 "
ビ ー ル	大 1 本	2 3 0 "
清 酒	1.8 ℓ	8 5 0 "
砂 糖	1 Kg	1 8 0 "
タ バ コ	2 0 本入	1 5 0 "
粉 ミ ル ク	1 缶	4 0 0 "
魚 貝 類	当国では未だ流通、加工、貯蔵の設備が完備されてないため、沢山出廻る時は極めて廉価になり、従って価格は需給関係に左右され不安定である。	
野 菜 ・ 果 物		

(ハ) 外 食

市内には韓国式の食堂が多数あり、一食300ウォンからある。その他洋食、中華料理店もあり、味は悪いが量は豊富で比較的廉価である。

(ニ) その他携行すべき調味料等

当国では、鰹節及び削器、昆布類、緑茶（当国では緑茶の飲用の風習はない）などは入手不可能であるため、できれば携行した方がよい。

3. 衣類、日用品

(イ) 衣類事情

① 一般的衣類事情

種類も豊富で廉価であるので入手上、不便を感じることはない。

洋服、靴はオーダーメイドで共に3日間位で仕上がるが雑である。

洋服1着分15,000ウォン、靴1足3,500ウォン。

② 必要とする衣類

気候は大体日本と同じく四季の区別がある。従って日本で使用している冬着、夏着、合着を持参すれば十分である。

当国では公式の服装として、モーニング、その他の礼装はなく、普通の背広にネクタイ着用で通常の礼式に出席して差し支えない。

婦人の着物姿は特別の場合以外は避けた方がよい。

日本の着物は当国の風土にはマッチしない上に異様に

さえ見られる。

特に足袋の足先が二つに割れているのは当国では四足動物の足先に似ているため軽蔑され「チョツバリ」と称して日本人に対する侮蔑の語となっている。従って日本婦人は洋装着用の方がすべて無難である。

### ③ 携行すべきもの

電気器具類は現地製品が最近出廻っているが、いずれも日本製品と比較すると非常に高価であり、且つ、品質、性能も劣る。従って電気冷蔵庫、洗濯機、電気釜、扇風機、ラジオ、アイロン、トースター、石油ストーブ等はできるだけ携行した方がよい。

性能の良いラジオは日本の放送が大邱、龜尾地区までは聴取可能である。テレビは釜山地区以外は日本からの受像は不可能。

## 4. 使用人

### ① 最低必要とする使用人

炊事、買出、雑用、留守番にメイド1名いれば足りる。

### ② 雇用、解雇に際し特に注意すべき事項

メイドの雇入れには、身元確実なことが何より必要である。周施業者からの雇入れは避け、学校、知人、その他責任ある紹介者に依頼して探してもらう方が無難である。

### ③ 給与月額

メイドは住込、食事付で月額7,000ウォンが相場である。この他盆、暮に韓国服1着分(5,000ウォン位)

の現物支給かそれ相当の現金を支給する。

日本語を多少話せるモードになると概ね40才以上の者となる。

## 5. 医 療

### (イ) 医療事情

#### ① 医療施設

医療施設は比較的ととのっている。特に外国系の総合病院、国立病院等は設備も充実している。

#### ② 日本人医師の有無

日本人医師はいないが市内には、日本語を話せる医師（大体40才以上のもの）も多数いる。

#### ③ 出産についての安全性

問題はない。

### (ロ) 医薬品

市内には薬局が多数あり、薬品の購入には少しも不便はない。

韓国製医薬品は種類も多く、効めも確かである。又輸入品も豊富に販売されている。その他当国は古来、漢方薬の豊富な国で日常保健のために高れい人參その他各種の薬草類が広く服用されている。

日本から特に携行を必要とする薬品はない。

### (ハ) 疾病の種類

#### ① 風土病的なもの

寄生虫、赤痢、チブス

#### ② 日本出発前に特に予防注射をしておくべきもの

天然痘の種類と夏季には当国では毎年コレラが流行するのでコレラ、赤痢の予防注射も受けて行くと良い。

(三) 健康管理上の注意事項

当国では野菜栽培に人糞を肥料に使用しているので生野菜の食用には十分注意が必要である。又河川や池などの淡水魚にはジストマ等が寄生しているので生で食べることは絶対さける。

水道の水といえども煮沸して飲用するよう心掛けること。日常生活は未だ衛生観念が低く、相当の料理、飲食店等においてもトイレに手洗の施設があるものは極めて少ない。

## 6. 子弟の教育機関

(イ) 教育制度の概要

日本と同じく6、3、3、4制である。

義務教育は国民学校(小学校)だけで、中学校、高等学校は公立の他に私立も相当数ある。

(ロ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

ない。

(ハ) 小学校は、6学年構成であるが、小、中学校位であれば、学校に籍を置くことも出来、言葉さえマスターすれば現地での教育は可能である。

又日本の通信教育や、ドリル全科などを併用すれば、さ程心配することはないと思われる。釜山地区は、アメリカン・スクールがあり、編入が可能である。その他の地区については、最寄りの希望校に接渉して入校すれば良い。なお、ソウルには日本人学校があり、小学校、中学校の講座

が開かれている。

## 7. 娯楽設備

### (イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

#### <保養地>

海雲台、東萊など温泉地があるが、日本で見られる程の保養地としての設備は完備されていない。

#### <ゴルフ場>

ソウル、釜山にある程度で未だあまり普及してない。

#### <ボーリング場、映画館>

ボーリング場はソウル、釜山、大邱、馬山などにあり普及しつつある。映画はこの国では大衆の唯一の楽しみであり、上映フィルムは韓、米、中華民国のもので、日本のフィルムは未だ輸入禁止で上映されてない。

### (ロ) 通常余暇の過ごし方

ハイキング、旅行、マージャン、卓球、釣、狩猟(キジ、兎)で好きな人は釣具、猟具を持参すると良い。

## 8. 電力

電圧100V、60 Cycle

日本で使用の電気機器は大体使用可能である。

## 9. 交通

### (イ) 交通事情

#### ① 一般交通機関

##### <バス>

市内及び主要都市間の交通機関としてバスが比較的発達している。

特にソウル～大邱～釜山間の主要幹線には高速道路が開通して高速バスが頻繁に運行されており、鉄道よりは利用価値が多い。

高速バスで大邱～ソウル間(料金1150ウオン)4時間、大邱～釜山間(料金500ウオン)2時間で行ける。

#### <航空機>

国内の主要都市間には航空便があり、大邱～ソウル間50分、大邱～釜山間25分で行ける。

#### <鉄道>

鉄道は京釜線(京城～釜山間)に特急(料金ソウル～大邱1650ウオン)、急行が運行されているが、その他の地方線は余り利用されていない。現在ではバスに喰われた形である。

#### ② 道路事情

ソウル～大邱～釜山間の高速道路(有料)は完全舗装であるが、他の地方の重要道路は未だ未舗装のものが極めて多い。又地方の道路には河川に橋梁のない道路も多いのでジープの類でないと田舎廻りはできない。

#### ③ 特に注意すべき交通法規

自動車は右側通行で信号による通行方法は日本とは若干異っているので実地運転は、現地に来てから十分修得の必要がある。

#### ④ 交通事故の取扱い

すべて警察署に届け出て、措置すること。

⑤ 事故補償

自家用車を所有する者は、アメリカのA I Uの自動車保健に加入しておいた方がよい。保健料は1ケ年98ドル程度である。

(ロ) タクシー

市内には流しのタクシーが多く走っており、広く一般に利用されている。

メーター料金は最初の1.5キロ90ウオン、以後500メートル毎に20ウオンが加算される。但し、市外に行く場合は、メーター制によらず、事前に運転手と料金を交渉して決める。

(ハ) レンタ・カー

なし。

(ニ) 自動車購入

① 購入方法

専門家が入国する際1台までは無課税で持込みできる。できれば日本から持参されれば非常に便利である。

当国には韓国製のコロナ、コルチナ、フィアット、レコードなどあるが非常に高価で、特に外国車の完成車の輸入は禁止されているので購入は困難である。

② 免税輸入特権

専門家には自家用車1台までの免税輸入が認められており、又自動車税も免税される。

(ホ) 運転免許

① 国際免許の有効性

当国は国際免許に関する国際条約国に加盟していない。



② 免許取得の方法、経費等

日本の免許証を当国所轄の道庁警察部交通課に提示して、簡単な筆記試験を受ければ直ちに当国免許証を交付してくれる。(実地試験免除)

その際、パスポート、ビザ及び本人の半身写真3枚を準備しておくこと。

経費は1500ウォン。

(ニ) ガソリン代

ガソリンは普通オクタン価のもので59ウォン(1ℓ)で品質も悪くない。

10. 為 替

(イ) 相 場

実 勢 US \$ 398.00ウォン

常に変動があるが詳細は毎日の新聞紙上で知ることができる。

(ロ) 対日送金

送金する場合、\$を小切手で送金できる。

(ハ) 滞在費等の受取方法

滞在費等の受取は、韓国外換銀行(Korea Exchange Bank)及びその支店、東京銀行ソウル支店に口座を設ける。引出しは現地通貨でその日のレートで直ちに可能である。

なお、特別に許可を受ければ、ドル預金口座の設定が可能で、ドルでの引出しができる。

また、外換銀行では、ドルを換えてウォン預金すること

もできる。

## 11. 出入国管理

### (イ) 税関検査

#### ① 一般事情

オフィシャル・パスポートの所持者については比較的簡単に通関できる。

#### ② 持込禁止品（国際的禁止品以外のもの）

特定の政治、思想、特に共産主義関係の文書の持込みは禁止されている。

#### ③ 入国に際しての注意事項

前②項や、北鮮関係の文書及び風俗を乱すようなエロ文書の持込みは不許可になっている。

#### ④ 持出禁止品

古い陶器類など文化財の国外持出しは禁止されている。

### (ロ) 外国人登録の有無

専門家は登録の義務はないが、将来特別の保護を受けるための便宜等を考えて、できれば居住地所轄警察署及び関係の派出所などに出頭、挨拶し届出をしておくが良い。

### (ハ) ビザの更更新手続き等

大使館を通じて、ソウルの出入国管理庁に出頭して手続きをとる。

## 12. 便宜供与

### (イ) 便宜供与の種類

#### ① 住宅手当等

現金供与はないが、海外技術訓練センターに勤務する専門家には住宅及び最少限度の家具（ベッド、タンス、テーブル、椅子、応接4点セット）が韓国側から無償貸与される。その他の家具、什器類は自費にて購入しなければならない。

一般専門家については、住宅及び現金供与等はない。

② 出張旅費等

専門家に対する出張旅費の支給はない。

ガソリン代の支給はないが、必要な場合公用車の使用ができる。

③ その他の現物供与等

その他現物供与は一切ない。

(ロ) カウンターパート

各専門家に対して、2、3名のカウンターパートが指定されている。一般には日本語を話せる者が多いが、中には全く日本語を解せぬ者もいる。その場合、英語を使用するか、専門家側で韓国語を早く修得する他はない。

(ハ) 免税特権

専門家が日本より取寄せる日常必要な身廻品、食料品などについては免税となる。

その他外国産の酒類、タバコ、化粧品、乳製品、缶詰などは外国人専門店（Foreigner's Super Market）でドルにて購入できるが、酒、タバコ、化粧品等については、特に高い税金が課せられているので、必ずしも廉価ではない。

### 13. 通信、運輸

#### (イ) 郵便事情

##### ① 安全性、配達システム

外国よりの郵便物はすべて郵政局において検閲を受けた後、各戸に配達される。又当国より外国へ発送されるものについても検閲を受けるらしい。

安全、確実性については現状では完全とはいえない。従来、日本から送られてくる小包、書籍類で手元に届かないケースが度々あった。特に小包包装の小さいものは途中で紛失（盗難）の恐れがあるので、包装はなるべく大きくするのも一案である。

書籍、雑誌類を開封で送付するのは最も危険であり、特に日本の婦人雑誌等は当地では高く売られるので抜き取り、盗難の対象になり易い。

従って、貴重なものは書留で送ることが望ましい。

##### ② 電報、電話サービス

電報、電信の業務は大体支障なく行なわれている。

##### ③ 手紙、電報の日本～現地間の所要日数

手紙 (Air Mail) 4～6日

電報 翌日

##### ④ 主要都市間との連絡方法

ソウル～釜山などの主要都市間の連絡は電話にて概ね10～15分程度でつながる。

#### (ロ) 運送

##### ① 陸送・海送業者の有無

陸送・海送業者ともある。

② 家財送付上の手続、宛名、注意事項

赴任時の家財送付等は空、海共にアナカンによるが宛名は日本大使館気付とすると通関手続きが容易である。  
(着任時に大使館担当者と連絡のこと)

③ 赴任時の家財、電気器具など必要品は、思い切って最大限一括して送った方がよい。発送日は渡航日約2週間前、日通に依頼し任地の所属先気付、自己名宛に発送するとよい。

#### 14. 言語

(イ) 公用語

韓国語である。

外国との正式折衝の場合、英語を使用する。

日本語を話す韓国人(概ね40才以上の者)も多数いるので、非公式には日本語を使用する場合がある。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

韓国語は出来るだけ学習しておくことが望ましい。

(ハ) 語学学習の施設、受講時間等

現地では、外国人に韓国語を教授する機関は別にないが、各自適当な方法で勉強することは容易である。なお、テープレコーダ1万円台を携行した方がよい。

#### 15. 気候

四季があり、日本の気候と大差はない。

夏季は日本に比べ湿気が少なく乾燥しているのでむしろしのぎ易く健康にも極めて良い。

冬季は室内はオンドル暖房で、多くは煉炭を使用している  
ので、時には密閉した室内に有毒ガスが発生し、人命に危険  
を及ぼすことがあるので特に注意が肝要である。

## 16. 治 安

### (イ) 一般情勢

治安は安定しており、日常生活で何ら危険の心配は感じ  
られない。

### (ロ) 夜間外出上の注意等

夜間禁止令があって、夜12時～朝4時までは外出禁止  
となっている。

日本のように暴力団やチンピラは見られないが、駅、酒  
場にはボン引、スリ、置引などがいるので注意すること。

又、居住地域には夜間、コソ泥が多いので、家には必ず  
留守番を置き、戸締りは厳重にすること。

### (ハ) 緊急時における大使館等連絡方法

緊急時には大使館、総領事館と電話連絡をとる。

又、各地区には日本人会支部があり、緊急時には連絡を  
とることになっている。

## 17. その他

### (イ) 対日感情、現地人気質

#### <対日感情>

35年にもわたった日本統治時代は、現在でもなお韓  
国民の対日感情を複雑なものにしている。そして解放  
後、李承晩時代を通じて学校の歴史教育は民族の独立

精神を鼓吹し、また、反日感情を育成してきた。  
新興国家の為政者は在来の日本の諸影響を払い拭うべき、あらゆる日本的なものの排除に努めたため、今日一般青少年は、日本に対する憎悪感情をもち、且つ、日本の現在に対しては全く認識も理解ももっていないのが現状である。

反面、中年以上の世代の中には日本語を解する者も多く、日本に対する親近感やある種の尊敬を抱いている者も決して少なくない。

日韓関係の正常化（1965年）以来、漸次両国関係も好転し、特にExpo '70の影響は極めて大きく、多数の韓国民が日本の現実に触れ、日本に対する認識も改められ、対日感情はとみに好転してきたことは事実である。

1972年度以降中共の日米接近に伴い、日本との国交は、北朝鮮との問題もからみ、政府、民間ベース共に、急速に合弁、資本投下、技術提携などが増加していることは、ニュースで知られる所である。

#### <現地人気質>

この国の乾燥した風土、紺碧の秋空の如く、極めて陽気で明朗な気質が伺われる。自尊心、自己主張が強く、喧嘩も多い。

大陸的で、色彩感覚も原色好みで気性もサッパリしている。

物事に対して大雑把で、秩序や計画性に乏しく、デリカシーがない。すべてが雑然としている。

人との交際は極めて親切で、ホスピタリティーに富んでいる。

長幼や上下の階層を尊び、大氏族的伝統と儒教的精神とがなお強くなっている。

(ロ) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法、購読料

日本より直接予約購読の方法もあるが、現地の新聞販売店に申込みれば、日本新聞は1ヶ月1500ウォンで配達してくれる。

② 日本語雑誌等の販売店の有無

市内に数軒ある。現在、本の種類は産業経済誌、技術関係月刊誌など急増してきた。

婦人雑誌などは一冊1000ウォン、文芸春秋800ウォン程度で購入できる。日本の定価の約2～3倍と思えば良い。

(ハ) 風俗・習慣

① 特に禁じられている風習等

日本からみると「近代以前」のものが見られる。

長幼、上下間の礼儀等が比較的はっきりしている。

(例えば、自分より年上者に対しては丁寧な言葉を使い、その前では煙草は絶対吸わないなど)

1) 物を人に差し出す時は必ず両手で丁寧に渡す。片手や左手では差し出さないこと。

2) 日本統治時代に使用した言葉「朝鮮」、「内地」などの言葉は絶対に使用しないこと。

3) 韓国の風習については、すべて長い民族の歴史の上



に築き上げられたものであることを知り、決して日本的尺度でとやかく批判しないこと。

4) 食事のテーブルマナーについては西洋式の場合是一般のエチケットによるが、韓国式料亭でのパーティーでは客1人に妓生1名が側につきっきりでサービスするのが風習であるので、帰りには必ず1人1000ウォン程度のチップを自分担当の妓生に手渡すこと。

② 専門家としての体面

韓国人は身なりなど外面を飾る傾向が強く、見栄っぱりである。

従って、専門家としても服装、身なりは常に端正にしておくこと。

(二) 理髪・美容、クリーニング等

理髪店、美容院、クリーニング店、公衆浴場(大衆風呂、個人風呂、家族風呂、マッサージ室を備えている)等多数ある。

料金は低廉で、理髪料は400ウォン、入浴料100ウォン程度であるが、衛生度については日本程完備されていない。

(ホ) 買物

政府は正札販売制を最近奨励しているが、未だ徹底していないので赴任当初は買物が一番苦手となる。

従って当初は現地の親しい人と買物に行き値引の程度、方法を漸次覚えてゆくことが肝要である。

大体に店の規模は小さく、商品の種類も少ない。

最近百貨店と称するものも増加し、正札制を実施してい

るが、これも日本のデパートとは全く性質が違い、1つのビル内に各種小売店が集まっているにすぎない。

従って購入商品の自宅への配達制度などは行なわれていない。

(ア) 今後赴任する専門家に望むこと

韓国に来て「日本は近くて遠い国」という言葉を耳にする。この言葉にひそむデリケートな民族感情を理解してかからねばならない。日韓関係には、過去35年に亘った日本の植民地支配の歴史があり、彼等の日本に対する見方には常にこの被害者としての意識があることである。この点、日本人としては謙虚に反省し、寛容と度量を以って彼等に接することが肝要である。

他方、日本人一般として戒心せねばならないことは最近の日本のGNPが自由諸国第2位などと云われて思い上った大国意識にかられ開発途上国を指導するといった独善的態度である。

又、日本人にあり勝ちな性急さと、日本人的尺度で異民族の全てを律しようとする事などは絶対に避けねばならない。

赴任する専門家はかつては韓民族が古代、日本の文化、技術の発展に貢献した歴史に思いをさせつつお互に協力、互惠平等、国際的分業の心構えで援助し合ってゆくという心懸けこそ何よりも大切なことである。

(イ) 韓国事情に関する参考本

- 光と影 朝日新聞社刊 ( ¥ 7 0 0 円 )
- 韓国読本 I . II ( 各 ¥ 2 5 0 円 )

- 民族の閃光 季宜根著 時事通信社刊  
(現嶺南大学総長)
- 韓国経済の奇蹟 原覚天著 日本国際問題研究所  
( ¥ 3 0 0 円 )

各日本新聞の韓国関連の全般記事

- 「ある韓国人の心」 朝日新聞 鄭敬謨著  
(横浜市在住48才著述業夫人は日本人)  
( ¥ 6 0 0 円 )

## Ⅱ 同国に対する我国の技術協力実績

昭和48年3月31日現在

形 態	区 分	農 水 産	煙 草	鋁 工 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	経 費	
											(千円)	(千米 ドル)
研修員受入		416	51	184	108	84	148	291	215	1,487	389,920	1,102
専門家派遣		105	14	43	51		64	5	10	292	53,103	178
セ ン タ ー	名 称	業 務 内 容			期 間	団 員 数						
	工業訓練センター	機械仕上部門			42.10							
		板金、溶接 輸送部門他			7 50.1	2	287,119	797				
開 発 調 査	名 称	調 査 内 容			期 間	団 員 数						
	鋼鉄事情調査	韓国政府は、経済 発展の重要な一環 として、総合製鉄 所建設計画を第2 次5カ年計画に組 入れ、その具体化 を急いでいる韓国 における鉄鋼事情 全般の専門調査を 行ない、鉄鋼一貫 製鉄所建設の可能 性と具体的方法に 関する勧告			40.9 7 40.10	9	4,081	11				

	名 称	調 査 内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米 <sup>3</sup> /ル)
開	鉄道工場建設計画調査	京城、永登浦、釜山、仁川等にある鉄道工場施設はあまりにも老朽化しており、このため既存工場の近代化並びに新規工場の建設を計画しその調査	41.11	7	8474	10
			41.12			
発	農業用水資源開発計画調査	全天候農業用水資源開発計画の経済的、技術的妥当性検討及び旱害対策樹立のための予備調査、それに伴う基礎資料収集と調査方針の決定	43.11	6	2512	7
			43.12			
調	農業用水資源開発計画	43年度に実施した予備調査に基づき農業用水開発計画全天候農業用水資源開発計画等各種計画および調査結果をくみあわせ総合的に判断し地域別の最有利計画を立てる。	44.5	26	11,286	81
査			44.11			

	名 称	調 査 内 容	期 間	団員数	(千円)	千メートル
開	酪農振興計画調査	世銀借款プロジェクトとして計画しているソウル市近郊、全羅南道、慶尙南道、慶南北道の酪農振興計画につきその開発から牛乳処理加工工場建設までの酪農一環計画樹立のためのフィージビリティ調査	44.7	22	10640	80
			44.11			
調	ソウル市都市交通計画調査	ソウル首都圏の都市交通事情を改善するための都市交通網計画および鉄道建設計画のための調査	45.9	10	12754	35
			45.10			
			45.12	3		
査	済州島観光開発計画調査	済州島観光開発及びそれともなう運輸施設近代化のための総合基本計画作成に必要な技術調査	46.12	5	2848	8
			46.1			
	農業開発計画調査	主要農業地帯の全般的実情調査 挿橋川、界火島、	46.3	6	2368	7
			46.4			

	名 称	調 査 内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米ドル)
開 発 調 査		栄山江、慶山、清州の五地区に関する大団農業開発プロジェクトについての現状、開発可能性についての調査				

	名 称	供与先機関	年 度	数 量		
機 材 供 与	同時通訳装置	外 務 省	43	1 式	7263	20
	海水恒温水槽装置	水産振興院	45		12355	84
	検診車、顕微鏡 イメージスコー プ	厚 生 省	48		14325	40
	深部治療器	延世大学	43		36,446	101
	寄生虫駆除剤、 対策用機材、検 診車等	寄生虫撲滅協会	44		82115	89
	医療品、照準用 シュミレーター 等機材	延世大学	44		24,008	67
	ソノログラフ		45		3,167	9
	顕微鏡、コイズ ミン		45		25,287	70
	コイズミン等		46		16,550	47
	顕微鏡等		46		14,070	40

	名 称	供与先機関	年 度	数 量	
機 材 供 与	ソニアアクセレ レーター式	延世大学がん研究 所	46	60,241	172
	腹腔鏡等		46	588	2
	ハーバードタン ク等	産業医学研究所	46	16,468	47



### Ⅲ 大使館等連絡先

#### 大 使 館

住 所 Embassy of Japan,  
18-11, Chunghak - dong  
Chongro - ku, Seoul,  
Republic of Korea.

(ソウル特別市鐘路区中学洞18-11)

電 話 (73) 5626 ~ 5629, (74) 5378 ~ 5379

#### 釜山総領事館

住 所 Consulate - General of Japan,  
C/O Taehan Sengmyong Building 41, 1-Ka,  
Kwangbok Dong Chung - Ku,  
Pusan, Republic of Korea.

(釜山市中区光復洞1街41大韓生命ビル内)

電 話 (22) 0267, 0294, 8672, 8673, (6) 4708

#### 韓国工業技術訓練センター

住 所 大韓民国大邱市  
領南大学校併設工業技術専門学校

